京都市政記者クラブ、京都府教育記者クラブ　同時資料配付

NEWS RELEASE

京都光華大学
京都光華大学大学院／京都光華大学短期大学部

報道関係者各位

2026 年 11 月 2 日

共学化から半年、京都光華大学に新たな活気
女子教育で培った文化を土台に、地域交流・課外活動で広がる共創

京都光華大学／京都光華大学短期大学部（学長：高見 茂）は、2026 年 4 月の共学化および「京都光華大学」への校名変更から半年を迎えました。共学化初年度となる 2026 年度は、大学・短期大学部合計で 665 名（前年比 136.8%）の入学者を迎え、そのうち男子学生は 108 名となりました。

本学が目指すのは、80 年以上にわたる女子教育で培ってきた「まじめさ」「寛容さ」「落ち着きのある安全な環境」などを大切にしながら、多様な学生が共に学び、高め合う共学校です。建学の精神である仏教精神を土台に、性別や背景の違いを越えた対話と協働を通じて、「Well-Being な社会」を共に創る力を育んでいます。

共学化から半年を経て、学生が主体的に担ってきた地域交流や課外活動に男子学生も加わり、交流や活動の選択肢が広がっています。従来の文化を継ぎつつ、新たな仲間と共に活動を創る姿が学内外で見られ始めています。

■地域とつながる活動に新たな仲間を迎えた「光華ワクワク×健やかフェス」



5月31日（日）に開催した「光華ワクワク×健やかフェス2026」は、学生が日頃の学びを生かした体験・ワークショップを実施するとともに、地域・企業・団体・高等学校などの社会共創パートナーと連携し、地域の“Well-Being”向上を目指すイベントです。

今年度は、共学化後初めて男子学生も運営スタッフとして初参加。これまで学生が真摯に取り組みを積み重ねてきた地域交流の場に新たなメンバーが加わり、来場者や地域の方々に学生から積極的に話しかける場面も見られました。日頃の学びを地域に還元する取り組みを、多様な学生が共に運営し交流を広げる機会となりました。

■クラブ・サークル活動にも新たなメンバーと交流が生まれる



共学化を契機に、クラブ・サークル活動への学生の参加が広がっています。2026年度のサークル加入率は在籍者のうちの21.8%から24.0%へ上昇しており、その中でも男子学生は全体の約15%を占めています。

男子学生の加入により、既存のクラブ・サークルでは新たなメンバーや視点が加わり、活動の幅が広がっています。学生同士が性別や学年、所属の違いを越えて協力することで、練習や企画、学内外での活動がより活発になっています。

■遊びと関わり方の選択肢が広がった「光華こども食堂」



8月9日（日）に開催した「第9回 光華こども食堂」では、男子学生もスタッフとして初参加しました。「光華こども食堂」は、学科や学年を越えた学生が有志で集まり、学生主体で運営する活動です。

今回は、これまで多く見られた福笑いやお絵描きに加え、紙飛行機飛ばしや鬼ごっこなどが自然に始まり、学生と子どもたちが一緒になって楽しむ姿が見られました。安心して過ごせる環境を大切にする姿勢を受け継ぎながら、新たな仲間と共に遊びや交流の選択肢を広げる活動へとつながっています。

■京都一、WELL-BEING な社会を共創する学校へ

本学は、共学化にあたり「STAY BONBU, CO-CREATE WELL-BEING.」を掲げ、多様な人々が互いを尊重し、手を取り合いながらWell-Beingな社会を共創することを目指しています。共学化から半年を迎え、授業、地域交流、クラブ・サークル活動などで、従来の文化を受け継ぎながら、新たな仲間と共に活動をつくる姿が見られるようになりました。今後も、これまで培ってきた伝統・文化を大切にしながら、多様な学生が自分らしく学び、共に成長できる、これまでにない新しいタイプの共学校を創ってまいります。

«取材に関するお問い合わせ»
京都光華大学／短期大学部　入学・広報センター　担当：川島
[TEL] 075-312-1899　[FAX] 075-312-5594　[E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp　[URL] https://www.koka.ac.jp/

2026 年 4 月共学化！
「京都光華大学」へ

STAY BONBU,CO-CREATE WELL-BEING.

Well-Being な社会を実現するためには多様な人々が手を取り合い共創することが必要です。
その共創のスキルを学生が育めるよう、本学園はジェンダーの壁を取り払い、男女共学化。
おもいやりの心で互いを尊重し、あらゆる人と共創できるキャンパスに進化します。